記者発表資料

平成２６年 ７月 １１日
国　土　交　通　省
酒田河川国道事務所

道の駅で道路施設の老朽化対策パネル展を開催
～ 計画的かつ効率的な道路管理の実現に向けて ～

平成26年4月14日、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会は、『最後の警告』として、一刻も早い本格的なメンテナンス体制の構築を求める提言を国土交通大臣へ手交しました。

わが国の道路施設の多くは、戦後本格的な整備が始まり、高度経済成長期に多くの橋やトンネルなどが建設されてきました。今後、これらの施設は、急速に高齢化が進行し、計画的に修繕を行わなければ、将来大きな負担が生じることとなります。

このため、道路インフラの補修や更新をいかに的確に対応していくかが重要な課題となっており、山形県内では平成26年5月30日に国、県、市町村、高速道路会社からなる「山形県道路メンテナンス会議」(会長:山形河川国道事務所長)を発足し、道路施設の老朽化対策に取り組んでいます。

今回その一環として、道路施設の現状や課題を広く皆様にご理解いただくことを目的に、道の駅で「道路施設の老朽化対策」パネル展を開催いたします。

【パネル展概要】

〈日　時〉　平成26年7月15日（火）～ 平成26年7月21日（月）
〈会　場〉　道の駅「あつみ」情報館

【展示パネルの主な内容】

・道路施設の老朽化の現状（東北管内の事例）
・橋の重大損傷事例（東北管内の事例）
・長寿命化計画
・新技術の活用
・地方公共団体への支援

A1パネル 23枚

【主催：山形県道路メンテナンス会議】

構成機関：国土交通省　山形河川国道事務所・酒田河川国道事務所、山形県
山形県35市町村、山形県道路公社、東日本高速道路(株)東北支社

発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会、エフエム山形、酒田エフエム

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所
副所長（道路）　今野　悟　電話　0234-27-3331
道路管理課長　加藤　恒　電話　0234-27-3498